

## 後期基本計画案（第3章第3節）

## 第1項 社会教育の推進

「一市民、一文化・一スポーツ・一ボランティア」のスローガンのもと、市民一人ひとりが生涯にわたり、それぞれの目的や志向、ライフステージに応じて自ら学び、活動することができるよう、また、市民一人ひとりが生きがいを持ち、互いに優しさといったわりを感じあえるよう、生涯学習複合施設を中心に、「生涯学習によるまちづくり」を展開します。

学習、活動する場となる社会教育施設の再生や機能の維持、大学や民間企業等のノウハウを活用した事業の実施や市民が学習した成果を地域活動に活かすことができる環境づくりに取り組みます。

また、多くの市民の芸術・文化活動の活性化を図るとともに、本市を理解し、愛する心を育むため、文化財の保存や活用に努めます。

併せて、本市の未来を担う子どもたちが健やかに、心豊かに成長できるよう、青少年を取り巻く社会環境や青少年の意識・行動を的確に把握する中で、青少年育成団体の活動の支援や青少年健全育成事業、放課後等の子どもの居場所づくりなどを推進します。

## 6年後の目指す姿

市民一人ひとりが、それぞれの目的や志向、ライフステージ等に応じて、学習・芸術・文化等の活動を行う、「生涯学習推進のまち習志野」が実現されている。

また、地域が繋がりが深め、地域全体で子どもの健やかな成長と安全で安心な環境を確保する体制が構築されている。

## 施策の成果を表す指標

指標名	基準値（R1 年度末）	目標値（R7 年度末）
公民館事業年間参加者数	50,439 人	53,000 人
公民館年間利用者数	402,261 人	422,300 人
図書館の利用登録率	28.0%	32.0%
図書館の図書貸出冊数	1,016,360 冊	1,037,000 冊

## 後期基本計画案（第 3 章第 3 節）

## 関連する個別計画

計画名	計画期間
教育振興基本計画	令和 2（2020）年～令和 7（2025）年
子ども・子育て支援事業計画（第 2 期）	令和 2（2020）年度～令和 6（2024）年度
子どもの読書活動推進計画	令和元（2019）年～令和 7（2025）年
公共施設再生計画（第 2 期）	令和 2（2020）年～令和 7（2025）年
生涯学習施設改修整備計画	平成 25（2013）年～
文化振興計画	令和 3（2021）年度～令和 7（2025）年度

## 施策の展開

**第 1 号 生涯学習推進のまち習志野の推進** **社会教育課・公民館・図書館**

## 《現状と課題》

「生涯学習推進のまち習志野」の実現に向け、習志野市民カレッジでは受講生が学習した成果を地域活動に還元できるよう、カリキュラムを改編するなど、内容の充実を図っています。

また、公民館では乳幼児から高齢者の幅広い年代とそれぞれのライフステージに応じた学級講座を開催し、図書館では視覚障がい者向けの情報ネットワークを活用した録音図書の提供やインターネットによる蔵書検索システムの機能向上など、図書館サービスを拡充しています。

更に、本市の未来を担う子どもたちの読書活動をより推進していくことを目的として、平成 30 年度に「子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。

そのような中、近年、市民のニーズやライフスタイル、価値観は多様化しており、更なる学習機会や内容の充実が求められています。

併せて、情報を入手する手段も多様化、複雑化している現在の情報化社会においては、引き続き、市民の課題解決に役立つ多様なサービスや資料の充実に取り組むことが必要となっています。

後期基本計画案（第3章第3節）

《取組内容》

多様化する学習ニーズへの対応とサービスの向上を図るため、習志野市民カレッジや公民館講座、図書館資料を充実するとともに、大学や民間企業等と連携し、乳幼児から高齢者までそれぞれの目的や志向、ライフステージに応じた学習機会の提供や学習した成果を地域活動に還元できる環境づくりを推進します。

また、本市の生涯学習の拠点である生涯学習複合施設において、エリア内の様々な施設が連携した事業を展開するなど、新たな手法による生涯学習の推進と地域の活性化を図ります。

併せて、中央公民館、中央図書館に他の館を統括する役割を持たせ、全市的な視点で本市の社会教育を積極的に推進します。

子どもの読書活動の推進については、引き続き、「子どもの読書活動推進計画」に基づき、家庭や学校、地域において、全ての子どもが読書の楽しさを知り、生きる力を育む読書環境づくりに取り組みます。

主な事業	
------	--

第2号 芸術・文化活動の振興

社会教育課、公民館

《現状と課題》

多くの市民が芸術・文化に親しみ、参加・活動する機会を充実するため、芸術文化団体の活動を支援するとともに、市内各施設において文化祭等を開催し、市民の芸術・文化活動の発表の場を提供しています。

また、公民館では地域の歴史や文化の学習、体験等を目的とした講座や行事の開催、地域の特色を活かしたコンサート等の開催による芸術・文化に触れる機会を、習志野文化ホールでは自主事業を通して、質の高い芸術鑑賞の機会を提供しています。

しかしながら、市民のニーズやライフスタイル、価値観は多様化しており、より一層、質の高い芸術・文化に触れる機会の提供と活動を支援する必要があります。

更に、少子超高齢社会を迎え、サークルや団体内の世代交代が進まず、構成員の高齢化に伴い、その活動や団体は縮小、減少傾向にあります。

後期基本計画案（第3章第3節）

《取組内容》

市民の創造力と感性を育み、心豊かなまちを形成するため、文化芸術基本法に基づき、本市の芸術・文化の振興に関する計画を策定し、市民の芸術・文化活動を推進します。

また、引き続き、公民館において、地域の歴史や文化の学習、体験等を目的とした講座や行事の開催、地域の特色を活かしたコンサート等を開催するなど、市民の芸術・文化活動の発表の場、芸術・文化を身近に親しめる機会を提供します。

併せて、質の高い芸術・文化に触れる機会を充実するため、習志野文化ホールの指定管理者である、公益財団法人習志野文化ホールが取り組む自主事業を支援するとともに、同法人が本市の芸術・文化の振興及び推進役として、習志野市芸術文化協会の事務局機能を担う中で、芸術文化団体の運営強化や活性化を図ります。

主な事業	
------	--

## 後期基本計画案（第3章第3節）

**第3号 文化財の保存・活用****社会教育課****《現状と課題》**

文化財の保存を推進するため、東日本大震災で被災した旧鵜田家住宅の復旧工事や開発に伴う埋蔵文化財調査、市内文化財や歴史資料等の調査、谷津貝塚出土資料の文化財指定などを実施するとともに、既存施設を活用した文化財収蔵場所の確保に取り組んでいます。

文化財の活用については、市民が市の歴史や文化財に触れる機会を増やすことを目指し、展示や講座等の充実、旧大沢家住宅や旧鵜田家住宅の環境整備と新規イベントの実施などに取り組んでいます。

しかしながら、開発の進行、生活スタイルの変化、災害、経年劣化などにより、文化財は常に消滅・散逸の危機にさらされており、引き続き、その保存の取り組みを進める必要があります。

また、市の歴史や文化財に対する理解を深めるため、文化財保護を啓発する上でも、文化財の展示や公開、調査成果の普及活動が強く求められています。

**《取組内容》**

文化財は、市民が本市の歴史や文化を深く理解し、本市を愛する心を育てるために必要不可欠なものであることから、次世代に継承するため、引き続き、その保存を推進します。

文化財や歴史資料の調査・収集・保存の充実に努め、文化財指定を目指した調査・検討を進めます。開発事業に伴う埋蔵文化財調査については、事業者及び関係機関との調整と協議を綿密に行い、埋蔵文化財保護の更なる充実に図ります。

また、市民が本市の歴史や文化財に親しめるように、旧大沢家住宅や旧鵜田家住宅をはじめとする文化財の活用と文化財や市史調査の成果を広く紹介するため、展示機会の拡充や刊行物の発刊、ホームページの充実等に取り組めます。

主な事業	
------	--

後期基本計画案（第3章第3節）

**第4号 社会教育施設の再編・整備**

**資産管理課、社会教育課**

**《現状と課題》**

社会教育施設の老朽化が進む中、将来の人口減少や少子超高齢化、生産年齢人口の減少、また、これに伴う財政状況を踏まえ、持続可能な文教住宅都市の実現と社会教育施設の運営を図るため、平成25(2013)年に「生涯学習施設改修整備計画」を策定しました。

その後、生涯学習施設改修整備計画を反映した「習志野市公共施設再生計画」に基づき、各社会教育施設の再生に取り組んでいます。

平成27(2015)年度からは、京成大久保駅を中心とした地区に所在する社会教育施設と中央公園を一体的に再生することを目的とした「大久保地区公共施設再生事業」に取り組んできました。

今後も、持続可能な文教住宅都市の実現と社会教育施設の運営を図るため、引き続き、公共施設再生計画に基づいた施設の再生に取り組んでいく必要があります。

**《取組内容》**

公民館・図書館等の老朽化が進む社会教育施設について、市民が快適に社会教育活動に取り組むことができるよう、改修、整備を実施し、機能の維持を図ります。

また、人口減少社会、少子超高齢社会を迎える中、持続可能な文教住宅都市の実現と社会教育施設の運営を図るため、引き続き、「生涯学習施設改修整備計画」及び「公共施設再生計画」に基づき、社会教育施設の再生に取り組めます。

主な事業	
------	--

## 後期基本計画案（第3章第3節）

**第5号 青少年健全育成の推進** 社会教育課、富士吉田青年の家、青少年センター**《現状と課題》**

未来を担う子どもたちが健やかに、心豊かに成長するため、青少年育成団体の活動支援や青少年施設を使用した活動の充実を図っています。

また、子どもたちが安全で安心して生活できるよう、児童生徒の緊急回避場所としての役割や不審者出没の抑止力向上を図ることを目的とした「子ども110番の家」の拡大を図るほか、青少年補導委員等による街頭補導活動や青少年健全育成連絡協議会を中心とした補導巡回パトロールを実施し、青少年の非行防止や地域の環境浄化を推進しています。

併せて、子どもたちの放課後の居場所づくりとして、各公民館において「子どもの部屋」などを実施していますが、引き続き、放課後等の子どもたちの安全で安心な居場所づくりを推進していく必要があります。

青少年育成団体の活動の課題として、各団体の自主事業が主となるため、各団体による単発的な活動となることが挙げられます。今後は、各団体間の情報共有と連携を強化し、各団体の持つ特性や強みを広く本市の青少年健全育成の推進に繋げていく必要があります。

併せて、ネット社会の急激な進歩に対応し、ネット被害を減少させることが求められています。

**《取組内容》**

青少年の健全育成を推進していくため、引き続き、青少年育成団体の活動支援や青少年施設を使用した活動の充実を図るとともに、団体間の情報共有や交流の場を設け、連携を強化します。

また、地域そのものを大家族ととらえ、幅広い視点から、時代に即した青少年問題について、行政と関係機関等との相互理解・共通認識を深める協議会等を開催することで、地域で子どもを育てる環境づくりを推進します。

さらに、「子ども110番の家」の加入の一層の促進と機能の充実を図るとともに、青少年補導委員連絡協議会や中学校区青少年健全育成連絡協議会と協力し、学校と地域、行政が一体となった見守り活動や補導活動、学校防犯ボランティアへの協力を行うことにより、子どもたちの安全を守るシステムづくりを促進し、青少年の健全育成に取り組みます。

併せて、放課後等における子どもたちの安全で安心な居場所づくりとして、引き続き、公民館で「子どもの部屋」を実施するとともに、「教育振興基本計画」、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、小学生を対象とした「放課後子供教室」を計画的に整備します。

## 後期基本計画案（第3章第3節）

主な事業	
------	--

## 第2項 生涯スポーツの推進

生涯にわたってスポーツに親しむには、市民一人ひとりのライフステージに応じたスポーツ活動の充実を図る必要があります。

このことから、スポーツを通じた健康増進の観点からも、子どもから高齢者、障がい者等まで、継続してスポーツに親しむことができる環境を整えることで、「する」スポーツを推進します。

また、トップチームやアスリート等の活躍は、市民に夢や希望を与え、生活を豊かにするとともに、スポーツへの興味や親しむきっかけになることが期待できることから、トップチームの大会開催や、アスリート等との交流の機会を創出し、「みる」スポーツの充実を図ります。

そして、スポーツの指導者や審判員の他に、大会や団体の運営、サポートといったスポーツボランティアの育成や支援を図ることで、「支える」スポーツを推進します。

## 6年後の目指す姿

スポーツを通じて、子どもから高齢者、障がい者等まで市民一人ひとりが、生涯にわたり親しむ豊かなスポーツライフを実現し、明るく健康で心豊かなくらしが育まれている。

## 施策の成果を表す指標

指標名	基準値（R1 年度末）	目標値（R7 年度末）
週1回以上、スポーツや運動を実践する市民の割合	51.9%	60.0%
スポーツ教室の参加人数	3,169 人	3,485 人

## 関連する個別計画

計画名	計画期間
（仮称）スポーツ推進計画	令和元（2020）年度～令和7（2025）年度
公共施設再生計画（第2期）	令和元（2020）年度～令和7（2025）年度
生涯学習施設改修整備計画	平成25（2013）年～



後期基本計画案（第3章第3節）

施策の展開

第1号 「する・みる・支える」スポーツの推進 生涯スポーツ  
課

《現状と課題》

スポーツは競技向上や順位を競い合うことだけでなく、心身の健康維持や仲間との交流など、生活の質の向上を高める手段として捉える人が増えており、誰でも気軽にスポーツに関わることができる機会や環境が求められるようになりました。

このような背景から、市民が気軽に参加できるイベントとしてスポーツ奨励大会やスポーツ教室の実施、学校体育施設開放や総合型地域スポーツクラブの設立等、スポーツ活動の充実を図っています。

また、千葉ロッテマリーンズのイースタンリーグやオービックスシーガルズの公式戦開催など、トップチームとの協定締結によりスポーツによる地域振興等の連携が図られ、また、世界女子ソフトボール選手権大会を市内で開催することで、世界レベルの技術を体感するとともに、多くのボランティアを動員してきました。

一方、スポーツをする人とならない人の二極化の問題、特に若い世代や働き盛り世代等のスポーツ実施率の低下などが課題として挙げられます。

《取組内容》

スポーツ推進計画に掲げている「生涯にわたり親しむ豊かなスポーツライフの実現」を目指すため、多様化、複雑化する市民のスポーツニーズに対応した、子どもから高齢者、障がい者等まで、様々な分野・世代におけるスポーツ活動の充実を図ります。

市民参加のイベントやスポーツ大会・教室を開催することにより、スポーツ活動の充実を図り、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組みます。

また、市民が身近に地元トップチームの試合を観戦できるようにするとともに、スポーツ教室や交流イベント等の開催を支援します。

将来にわたってスポーツを継続的に実施していくためには、市内スポーツ推進団体や、スポーツ大会等の開催を支えるボランティアが必要であることから、これらの育成や支援に取り組みます。

主な事業	
------	--

後期基本計画案（第3章第3節）

**第2号 健康・体力を育むスポーツ施設の整備** 生涯スポーツ課

《現状と課題》

市民一人ひとりが安心してスポーツ活動に取り組めるよう、施設の整備と充実に努めています。

スポーツ施設においては、利便性の向上や安全に施設を使用するために秋津野球場スコアボードの電光掲示板化や東部体育館の大規模改修工事等の老朽化対策の工事を実施しました。

しかしながら、新たなスポーツ施設の整備は難しく、また、既存スポーツ施設の老朽化が進む中、引き続き、安全な施設の修繕・改修等を優先する必要があります。

《取組内容》

老朽化が進むスポーツ施設について、市民が快適に使用できるよう、「生涯学習施設改修整備計画」及び「公共施設再生計画」に基づき、改修等に取り組みます。

また、今後も継続して、快適に安全に施設を使用していくため、施設の老朽化対策について、計画的かつ緊急度に応じた修繕等を進めていくとともに、市内小学校の学校体育施設開放を継続することで、市民の健康・体力を育むための場の確保に努めます。

主な事業	
------	--